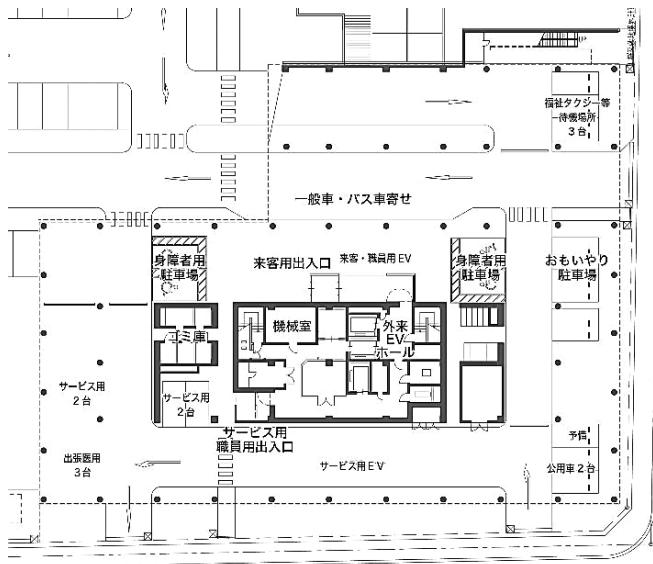


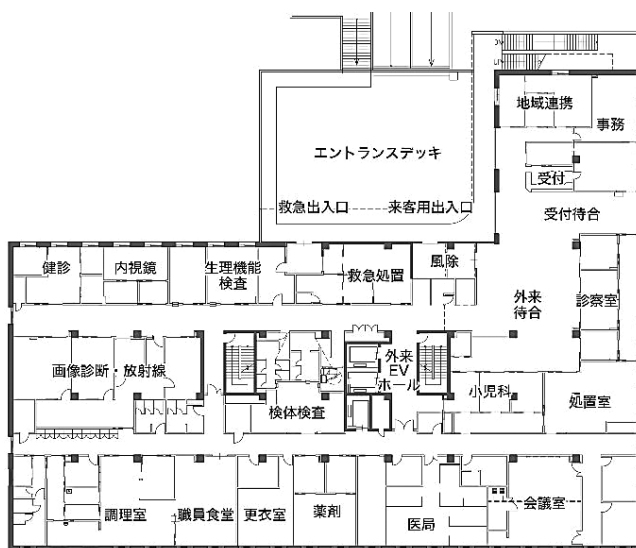
1階 (2,551.91㎡)
【ピロティ駐車場、サブエントランス】

- 来客用出入り口の近くに身障者用、おもいやり駐車場を配置します。
- 来客用（北側）と職員用（南側）のエリアを明確に区分します。
- エレベータや機械室などは強度のある外壁などで守られ津波による浸水を防ぎます。



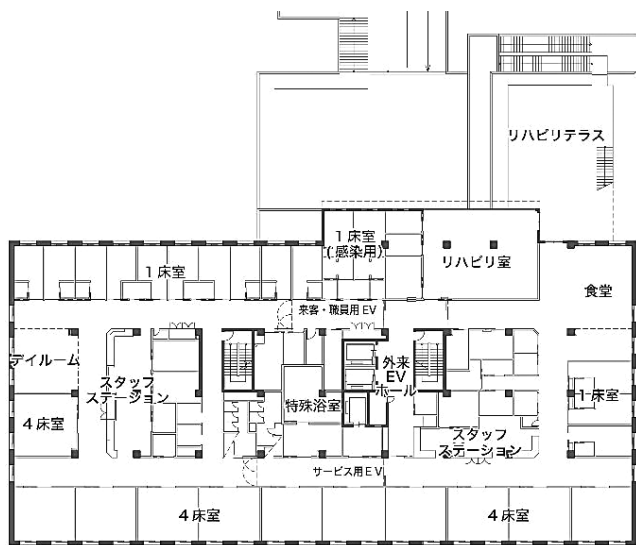
2階 (2,124.03㎡)
【メインエントランス、外来・救急・健診】

- 救急車やタクシー、福祉車両などがメインエントランスを利用します。
- 外来と職員ゾーンを明確に区分し、患者動線と職員動線の交錯を減らします。
- 「来た道から帰る」を原則に検査から診察まで完結するシンプルな動線とします。



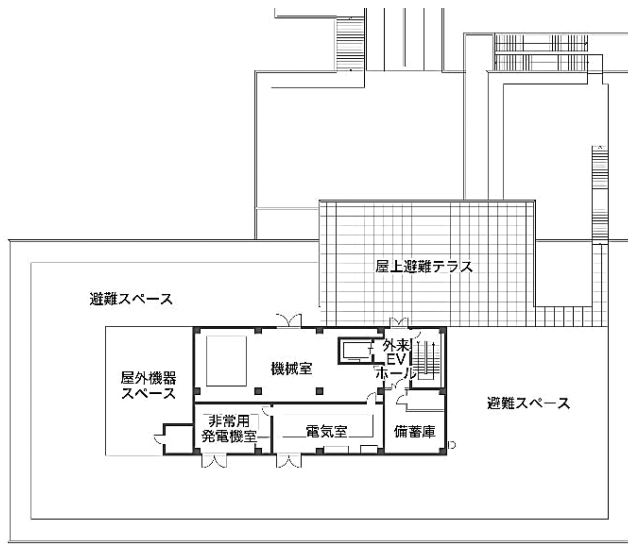
3階 (1,951.57㎡)
【病棟、介護医療院】

- 病棟、介護医療院きたこぶし、リハビリ部門で構成します。
- 感染防止のため、不用意に患者が交わらないよう、各部門を区画します。
- 病床の施設基準を統一することで、将来の介護医療院の増床に対応します。



4階 (323.84㎡)
【機械室、避難スペース】

- 病院運営上、重要な設備機器は、津波の被害や塩害のおそれのない4階屋内に設置します。
- 屋上を津波一時避難場所として指定します。また、屋外階段により地上からの避難が可能です。



※外観デザイン、フロア構成、面積などは、実施設計で変更する可能性があります。

問い合わせ先：政策推進課 都市企画グループ ☎82-8213